



多賀城市市民活動サポートセンター 情報誌

発行：
多賀城市市民活動サポートセンター

準備号 【毎月1日発行】

発行日：平成23年9月1日

○情報誌の3つの役割○

この情報誌では、多賀城の復興に向けて市民やまちが元気になる情報を、月1回お届けします。



避難所・仮設住宅・ご自宅、多賀城市内の全ての被災者の方へ「困りごとを相談」できる民間団体の情報を提供します。

市民と市民が支え合うきっかけになるお話を紹介します。

多賀城市民がみんなでまちを元気にしていく活動などを紹介します。

☆復興へ!たがさぼの4つの方針☆ たがさぼ…多賀城市市民活動サポートセンターの略

- ①被災者とNPO・企業などによる支援活動をつなぐこと
- ②町内会・自治会活動を支援し続けること
- ③復興を支援する市民活動情報をみなさんに提供すること
- ④市民と行政、企業をつないで復興の力を生み出すこと

多賀城市市民活動サポートセンターでは、今後、多賀城市内の活動とより連携を深めながら上記の4つの方針を掲げ、市民活動の分野から多賀城の復興を応援していきます。

多賀城のために「何か」したいと思った方、そして、日々の活動場所を探しているさまざまな団体のみなさんは、ぜひ当センターをご活用ください。当センターには、日々の困りごとの解決に役立つNPOの情報がたくさんあります。みなさんのご利用をお待ちしております。



NPO電話相談窓口

被災された方の困りごとや悩みごとに対応する相談窓口を紹介します。

●ふんばろう東日本支援プロジェクト●

物資を必要としている被災者と物資を提供したい支援者を結ぶウェブサイトです。電話での依頼も可能です。

対象：支援物資を必要としている被災者の方

団体名：ふんばろう東日本支援プロジェクト

連絡先：0570-06-4439

受付時間：午前9時～午後9時

HP：<http://fumbaro.org/>

E-mail：fjm2011.shelterinfo@gmail.com



ふんばろう東日本
支援プロジェクト

●チャイルドライン●

学校のこと、家族のこと、いじめのこと等悩みや不安を抱える子どもの声を受け止めます。どんな話でも安心して相談してください。

対象：18歳までの子ども

団体名：NPO法人チャイルドライン支援センター

連絡先：0120-99-7777

受付時間：月～土曜日 午後4時～午後9時

HP：<http://www.childline.or.jp/>



●パープル・ホットライン●

災害、暴力被害、生活のことなど様々な悩みごとを相談できる女性専用の電話窓口です。必ず適切な支援者へつなげます。

対象：災害・暴力・人権・生活等に悩む女性

団体名：NPO法人全国シェルターネット

連絡先：0120-941-826

受付時間：24時間対応

HP：<http://nwsnet.or.jp/purpleline/>

E-mail：saigai@nwsnet.or.jp

●東日本大震災 心の相談電話●

東日本大震災により悩みや問題を抱えた被災者の方や支援活動に関わる方の精神的なサポートを行います。

対象：震災により不安や悩みを抱えている被災者及び支援者

団体名：東日本大震災心理支援センター

連絡先：0120-719-789

受付時間：月・火・木・金曜日 午後7時～午後9時

HP：<http://www.ajcp.info/jpsc/>

E-mail：jpsc@ajcp.info

● NPOのチカラ

震災後、市内・市外を問わず多くのNPOが救援や復興に向けてチカラを発揮しました。このコーナーでは、それらの活動を逐次紹介していきます。

活きるアンケート調査

被災者をNPOとつないで支える合同プロジェクト



調査のためにたくさんのボランティアが活躍しました。

多賀城市には震災直後から多くのボランティアやNPOが駆けつけ、被災家屋の泥出し・片付けなどの労力提供や物資支援、避難所での炊き出しなどを行いました。一方で、NPOの中には被災者への直接的な支援だけではなく、高い専門性をもって被災地の状況を調査し、復興に必要な取り組みなどを行政に提言したりする団体もあります。その一つ「被災者をNPOとつないで支える合同プロジェクト」(つなプロ)は、多賀城市と協働で5月に「多賀城市避難者個人状況調査」を実施しました。

「つなプロ」は、仙台や東京に本部を置く6つのNPOや財団が連携して立ち上げた団体で、避難生活における生活環境の改善や避難者の状況悪化を防ぐための活動をしています。当時避難所にいた全避難者を対象にアンケート調査を実施した結果、震災以降、「減収」「自宅待機」「解雇された」避難者の合計が76%に及ぶことなどが明らかになりました。このデータは、被災地の厳しさを事実としてマスコミによって伝えられるとともに、国内外のNPOが支援活動に必要な情報源として活用されています。多賀城市内で実施したこの取り組みには、調査・集計に必要なノウハウや延べ100名を超えるボランティアのマンパワーなど、NPOならではの機動性・専門性・行動力が発揮されました。

現在では、調査後に明らかとなった被災者のニーズに対して、専門家やNPOが提供するサービスを届けています。

復興に向け、多賀城市においてもこのようなNPOがいたるところで活躍しています。

※NPO：営利を目的としない防災や環境問題、福祉問題などに取り組む組織・グループ

被災者をNPOとつないで支える合同プロジェクト

<http://www.hnpo.comsapo.net/portal/tsuna-pro/portal.index>

たがさぼブックレビュー

『地震イツモノート』

著者：地震イツモプロジェクト編

発行：木楽舎

発行日：平成19年4月1日



地震への備えは大事だとわかっていても、東日本大震災を経験するまでは自分事として考えていなかったのが正直なところでした。震災をきっかけに日ごろの備えを見直そうと手に取ったのがこの本です。『地震イツモノート』は阪神・淡路大震災の被災者167人の経験をもとに、地震発生当時から救助活動、避難所での生活の中で、困ったこと、役に立ったこと、工夫したこと、そしてその時々のお気持ちがイラストを中心にまとめられています。

「もしも」ではなく、普段の生活の一部として「いつも」できる備え方と心の持ち方を提案しています。私の備えの点検と、私たちの住む地域のこれからの取り組みのヒントになる一冊です。【スタッフ 中津】

☆たがさぼ文庫で貸し出しています。

■たがさぼ文庫

情報サロン内にある市民活動に関する図書・雑誌が貸出・閲覧できます。震災関連特設コーナーをつくりました。

■図書販売コーナー

NPO・市民活動団体が発行する図書(報告書、パンフレット等)を販売しています。



たがさぼ事業紹介

NPOいちから塾

震災復興で注目されているNPOについて90分でおわかりやすくお伝えします。

これから活動してみたい方はぜひご参加ください。

日時／平成23年9月27日(火)午後7時～午後8時30分

会場／市民活動サポートセンター

費用／500円(資料代として・当日持参)

定員／15名程度(先着順)

申込／市民活動サポートセンター窓口または電話にてお申込みください。

問／市民活動サポートセンター 022-368-7745

東日本大震災におけるアルバム等一時保管物の公開と引き渡しについて

たがさぼでは、津波等の被害によって流されたご自身の物品または親族等の物品を公開しています。その場で引き渡し可能です。

縦覧期間：平成23年8月2日(火)～平成23年10月31日(月)

縦覧日：期間中の毎週水曜日を除く午前9時～午後5時

□発行：多賀城市市民活動サポートセンター

〒985-0873 多賀城市中央二丁目25-3
(多賀城市文化センター北隣、上下水道部向かい)

TEL:022-368-7745 FAX:022-309-3706

ホームページ：<http://www.tagasapo.org/>

スタッフブログ：<http://blog.canpan.info/tagasapo/>

□編集：特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター